

(1) Laid Open Specification of Japanese Patent Application  
No. 10-020595  
This corresponds to 5,884,117

(19)

JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 10020595 A

(43) Date of publication of application: 23.01.98

(51) Int. Cl

G03G 15/00

(21) Application number: 08169326

(22) Date of filing: 28.06.96

(71) Applicant: CANON INC

(72) Inventor: TAGAMI MASAHIRO  
ISHII HIROYUKI  
YUZA AKIRA  
KAJIYA HIDEHIKO

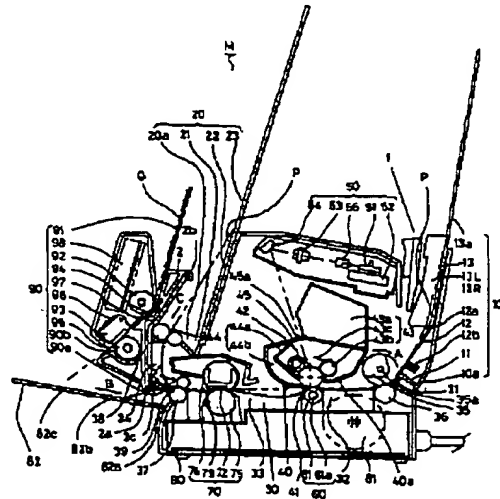
(54) ELECTROPHOTOGRAPHIC IMAGE FORMING  
DEVICE

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an electrophotographic image forming device which can be miniaturized and is excellent in operability by supporting a recording medium to first and second supporting means in a longitudinal direction.

**SOLUTION:** The first supporting means 10 for supporting a recording paper P before an image is formed, in the longitudinal direction is provided in the rear part of a printer main body 1. The second supporting means 20 for supporting the recording paper P before the image is formed, in the longitudinal direction is provided in the front part of the printer main body 1. In such a constitution, a toner image is formed on a photoreceptive drum 41 by an electrifying roller 42, an information light emitting means 50 and a developing device 43. On the other hand, the recording paper P is carried facedown from the first supporting means 10, to be supplied to the photoreceptive drum 41 through the upstream side of a carrying path 30, so that the toner image on the drum 41 is transferred to the recording paper P by a transfer means 60. The recording paper P having the transferred toner image is ejected to face upward after the toner image is fixed on the surface by a fixing means 70, and supported in a nearly upright state by the second supporting means 20.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 10-20595

(43) 公開日 平成10年(1998)1月23日

(51) Int. Cl.<sup>6</sup> 識別記号 庁内整理番号 F I 技術表示箇所  
G 0 3 G 15/00 5 5 0 G 0 3 G 15/00 5 5 0

審査請求 未請求 請求項の数 6

O L

(全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平8-169326

(22) 出願日 平成8年(1996)6月28日

(71) 出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72) 発明者 田上 昌英

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(72) 発明者 石井 博之

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(72) 発明者 遊佐 曜

東京都大田区下丸子3丁目30番2号キヤノン株式会社内

(74) 代理人 弁理士 中川 周吉 (外1名)

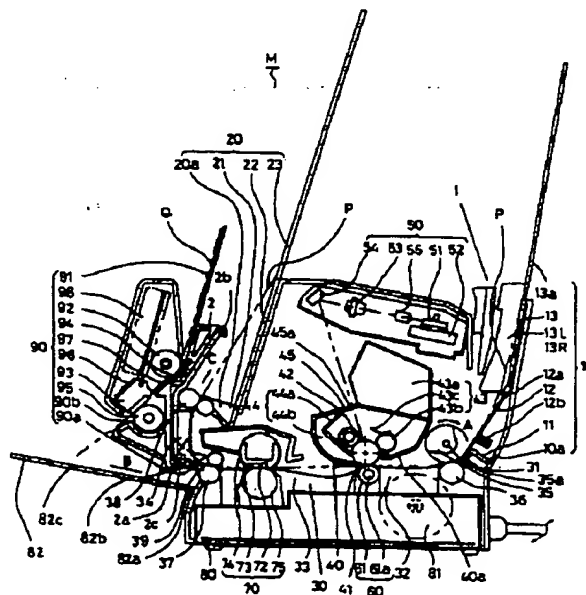
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 電子写真画像形成装置

(57) 【要約】

【課題】 小型化が可能であると共に、操作性の良い電子写真画像形成装置を提供する。

【解決手段】 記録媒体に画像を形成する画像記録手段と、原稿情報を読み取る読取手段とを有する電子写真画像形成装置において、画像記録前後の記録媒体を縦方向に支持する第一支持手段及び第二支持手段と、記録媒体の搬送路の上方に位置するカートリッジ化された電子写真感光体と、前記両支持手段の間であって、前記電子写真感光体の上方に設けられた情報光発射手段と、前記搬送路の下方に前記電子写真感光体と対向するように設けられた転写手段と、を有し、前記電子写真感光体をカートリッジ化したプロセスカートリッジを前記第二支持手段を開閉することによって画像記録手段へ着脱可能に構成し、前記画像読取手段を前記第二支持手段へ着脱可能に構成したことを特徴とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 記録媒体に画像を形成する画像記録手段と、原稿情報を読み取る画像読取手段とを有する電子写真画像形成装置において、前記画像記録手段は、記録部へ給送するための記録媒体を縦方向に支持する第一支持手段と、画像記録後の記録媒体を縦方向に支持する第二支持手段と、

前記第一支持手段から第二支持手段へ向かう搬送路の上方に位置するカートリッジ化された電子写真感光体と、前記第一支持手段と第二支持手段の間であって、前記電子写真感光体の上方に設けられた、前記電子写真感光体に画像情報に応じた情報光を照射するための情報光発射手段と、

前記搬送路の下方に前記電子写真感光体と対向するように設けられた、前記電子写真感光体に形成された像を記録媒体に転写するための転写手段と、を有し、

前記電子写真感光体をカートリッジ化したプロセスカートリッジを前記第二支持手段を開閉することによって画像記録手段へ着脱可能に構成し、前記画像読取手段を前記第二支持手段へ着脱可能に構成したことを特徴とする電子写真画像形成装置。

【請求項2】 前記第二支持手段は、前記画像読取手段で読み取る原稿の支持手段を兼ねることを特徴とする請求項1記載の電子写真画像形成装置。

【請求項3】 前記画像記録手段は、画像記録後の記録媒体を前記第二支持手段とは異なる方向へ導く案内手段と、

前記案内手段によって第二支持手段とは異なる方向へ導かれた記録媒体を支持する第三支持手段と、

を有し、

前記画像読取手段から排出された原稿を、前記第三支持手段に排出し、且つ前記排出された原稿の画像面を、前記第三支持手段に排出された記録媒体の記録面とは表裏が逆に排出するように構成したことを特徴とする請求項1又は請求項2記載の電子写真画像形成装置。

【請求項4】 前記画像記録手段は、画像記録後の記録媒体を前記第二支持手段とは異なる方向へ導く案内手段と、

前記案内手段によって第二支持手段とは異なる方向へ導かれた記録媒体を支持する第三支持手段と、

を有し、

前記第三支持手段は、前記画像読取手段で読み取る原稿の支持手段を兼ね、前記画像読取手段から排出される原稿を、前記第二支持手段へ排出するよう構成したことを特徴とする請求項1又は請求項2記載の電子写真画像形成装置。

【請求項5】 前記画像読取手段は、水平面に対して自立可能に構成したことを特徴とする請求項1又は請求項

2記載の電子写真画像形成装置。

【請求項6】 前記プロセスカートリッジは、前記電子写真感光体と、電子写真感光体を帯電させる帯電手段、電子写真感光体に形成した潜像を現像する現像手段、電子写真感光体に残留したトナーを除去するクリーニング手段をカートリッジ化したものであることを特徴とする請求項1記載の電子写真画像形成装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、イメージスキャナ機能付きプリンタ、ファクシミリ機能付きプリンタ等の、いわゆる画像記録手段と原稿読み取り手段とから一体的に構成され、かつ多くの機能（例えば、プリンタ、スキャナ、ファクシミリ、コピー機能）を持つことが可能な多機能画像形成装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来この様な装置においては、図8のように構成されていた。

【0003】図中101はレーザプリンタの装置本体であり、右側が本体正面側、左側が本体背面側となっている。図において、102は画像形成前の記録紙を収納する給紙カセット、103は感光ドラム、帯電器、現像器、クリーナ等が一体的に組み込まれたプロセスカートリッジ、104はプロセスカートリッジ103を装置本体101から脱着する際に開閉するカートリッジカバー、105は画像形成後の記録紙を積載する排紙トレイである。

【0004】給紙カセット102に記録紙を補給する際は、装置本体101から給紙カセット102を図中右側（正面側）に引き抜いて作業を行う。

【0005】又、プロセスカートリッジ103の交換や紙づまりの処理時には、カートリッジカバー104を図中矢印A方向に開くことによって、プロセスカートリッジ103を装置本体101から取り出して作業を行うことができる。

【0006】さらに、106は原稿画像を読み取るためのイメージスキャナである。このイメージスキャナ106の前後には原稿をセッティングするための給紙トレイ107と、読み取り後の原稿を積載する排紙トレイ108が設けられている。ここに原稿の進行方向は実線の矢印で、さらに記録紙の進行方向は破線で表している。

## 【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例においては次のような課題があった。まず、装置本体101から引き出された給紙カセット102の上方にイメージスキャナ106の排紙トレイ108が位置しているため、給紙カセット102に記録紙を補給する際に、この排紙トレイ108が邪魔になって操作性を悪化させていた。

【0008】同様に、カートリッジカバー104の上方にイメージスキャナ106の給紙トレイ107が位置しているために、装置本体101の排紙トレイ105上に排出された

記録紙を取りにくいばかりか、カートリッジカバー104を開けてプロセスカートリッジ103を装置本体101から取り出す際には、この給紙トレイ107が邪魔になってプロセスカートリッジ103を取り出しにくくなっていた。

【0009】又、給紙カセット102への記録紙の補給、イメージスキャナへ106の給紙トレイ107への原稿のセッティング、紙づまり時などのプロセスカートリッジ103の脱着を、それぞれ異なる方向からアクセスしなくてはならないために、使用者の混乱を招き、使い勝手を悪くさせていた。

【0010】本発明は上記課題を解決するものであり、その目的は、小型化が可能であると共に、操作性の良い電子写真画像形成装置を提供するものである。

【0011】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための本発明に係る代表的な構成は、記録媒体に画像を形成する画像記録手段と、原稿情報を読み取る読取手段とを有する電子写真画像形成装置において、前記画像記録手段は、記録部へ給送するための記録媒体を縦方向に支持する第一支持手段と、画像記録後の記録媒体を縦方向に支持する第二支持手段と、前記第一支持手段から第二支持手段へ向かう搬送路の上方に位置するカートリッジ化された電子写真感光体と、前記第一支持手段と第二支持手段の間であって、前記電子写真感光体の上方に設けられた、前記電子写真感光体に画像情報に応じた情報光を照射するための情報光発射手段と、前記搬送路の下方に前記電子写真感光体と対向するように設けられた、前記電子写真感光体に形成された像を記録媒体に転写するための転写手段と、を有し、前記電子写真感光体をカートリッジ化したプロセスカートリッジを前記第二支持手段を開閉することによって画像記録手段へ着脱可能に構成し、前記画像読取手段を前記第二支持手段へ着脱可能に構成したことを特徴とする。

【0012】上記構成にあつては、第一支持手段及び第二支持手段へ記録媒体を縦方向に支持させることにより、装置の設置スペースが小さくて足りるようになる。

【0013】また、第一支持手段への記録媒体のセット、第二支持手段からの記録媒体の取り出し、プロセスカートリッジの着脱及び画像読取手段の着脱を第二支持手段側から行うことが可能となり、操作性が向上するものである。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、図面に沿って、本発明の実施形態について説明する。

【0015】〔第1実施形態〕図1に、本発明に係わる電子写真画像形成装置の一例として、プロセスカートリッジを使用するレーザービームプリンタMの概略構成を示す。なお、同図をはじめとする各図面中では、左側をプリンタ本体1の「前」、右側を同じく「後」とする。これに従うと、記録紙Pの搬送方向の上流、下流につい

ては、後部が上流側、前部が下流側ということになる。

【0016】また、画像形成の対象となる記録媒体Pとしては、一般の普通紙の他に、厚紙、封筒等の特殊紙、さらには紙以外の例えばOHPフィルム等のシート材を使用することができるが、以下述べる実施形態では一般の普通紙を用いた場合で説明する。

【0017】まず、同図に示すレーザービームプリンタ（以下単に「プリンタ」という）Mの構成の概略を説明する。

10 【0018】このプリンタMは、画像記録手段であるプリンタ本体1（以下単に「本体1」という。なお、以下の説明において、「本体」というときには、プリンタMの外装を構成するフレームの他に、内側を構成するフレームについてもいうものとする）と、密着型コンタクトイメージセンサを読み取り素子に用いている画像読取手段である画像読取部90から構成され、本体1の後部に、縦方向に向けて画像形成前の記録紙Pを支持する第一支持手段10を設け、本体1の前部に、画像形成後の記録紙Pを縦方向に支持する第二支持手段20を設ける。

20 【0019】そして、これら第一支持手段10の下端部10aと第二支持手段20の下端部20aとを本体1の後部から前部に向けて延びる搬送路30で連結し、全体としてU字型のパス（以下、「縦U字パス」という）を構成している。

【0020】プリンタMは、又、搬送路30のすぐ上方に配設したドラム状の電子写真感光体（以下、「感光ドラム」という）41等を一体的に組み込んだプロセスカートリッジ40と、このプロセスカートリッジ40の上方に配設した情報光発射手段50と、搬送路30の中間部下方に感光ドラム41に対向配置した転写手段60と、搬送路30の下流側で第二支持手段20の下端部のすぐ下に配置した定着手段70とを備えている。上述の縦U字パスを基準とすると、プロセスカートリッジ40と情報光発射手段50とはその内側に、また転写手段60はその外側に、そして定着手段70は搬送路30を下流側においてまたぐようにしてそれぞれ配置されていることになる。

【0021】上述のような構成のプリンタMの動作を簡単に説明する。まず、帯電手段42、情報光発射手段50及び現像手段43によって感光ドラム41上にトナー像を形成する。一方、記録紙Pを第一支持手段10から下向きに給送して搬送路30の上流側を介して感光ドラム41に供給し、この供給された記録紙Pに、感光ドラム41上の上述のトナー像を転写手段60により転写する。トナー像が転写された記録紙Pは、定着手段70でトナー像が表面に定着された後、上方に向けて排出され、第二支持手段20によって直立に近い状態で支持される。

【0022】このような構成、動作をなすプリンタM、すなわち縦U字パスを有するプリンタMにおいては、搬送路30の前後方向の長さを短縮することにより、記録紙Pの搬送方向長さにかかわらず、本体1の占有面積を小

さくすることが可能である。

【0023】次に前記プリンタMの各部材の構成について、第一支持手段10から順に詳述する。

【0024】第一支持手段10は、本体1の後部に設けられ、下方から順に、突当部11、先端支持部12、給紙トレイ13を有する。突当部11は、画像形成前の記録紙Pの先端を下方から支持して記録紙Pの重量を支える。先端支持部12は、軸12aを中心に本体1によって前後方向に揺動可能に支持されており、下端部の背面に配置されたバネ12bによって、前方に付勢されている。前方に付勢された先端支持部12は、給送前はカム部材（不図示）により後方に退避させられ、給紙時のみ、上述のカム部材が回動して前方へ記録紙Pを付勢する。給紙トレイ13は、本体1の上面後端部から縦方向に突出するようにして配設されている。給紙トレイ13は、記録紙Pの中間部及び後端部を、その背面側（後面側）から支持して、画像形成前の記録紙P全体を縦方向に平面上に支持する。給紙トレイ13の前面側には、記録紙Pの左右方向（前側から後側を見たときの左右をいう）の位置を規制する2枚の可動の規制板13L、13Rが配置されている。又、給紙トレイ13の上端には、上方に延びて、搬送方向長さの長い記録紙Pを安定よく支持する延長ガイド13aが出入り可能に配置されている。

【0025】第二支持手段20は、上述の第一支持手段10が本体1の後部に設けられているのに対し、本体1の前部に設けられている。第二支持手段20は、本体1の一部を構成する開閉自在の外装カバー2に設けられており、下方から順に、突当部（後端規制面）21、排紙トレイ（積載面）22、延長トレイ23を有する。画像形成後の記録紙Pに対し、突当部21はその後端を下方から支持し、排紙トレイ22はその後半部を背面側から支持し、延長トレイ23は前半部を背面側から支持する。延長トレイ23は、排紙トレイ22によって昇降可能に支持されており、本体1の上方に引き出された状態の延長トレイ23と、排紙トレイ22とによって、画像形成後の記録紙Pを縦方向に平面上に支持する。

【0026】搬送路30は、第一支持手段10の下端部10aと第二支持手段20の下端部20aとを連結し、本体1の後部から前部に向けて延びる記録紙Pの搬送用の経路を構成している。搬送路30は、後部（上流側）から前部（下流側）にかけて順に、分離パッド31、転写前ガイド32、転写後ガイド33、そして定着手段70の下流側の反転ガイド34を有する。又、分離パッド31の斜め上方には、給紙ローラ35が配置され、給紙ローラ35の下方には、搬送ローラ36が配置されている。

【0027】給紙ローラ35は、外周面が軸35aに対して偏心して形成されており、矢印A方向の回転によって、第一支持手段10から記録紙Pを給送し、分離パッド31との間で記録紙Pの重送を防止しながら、搬送ローラ36と相まって、記録紙Pを搬送するように構成されている。

転写前ガイド32はほぼ水平に構成されており、上方のプロセスカートリッジ40の下面40aとの間で記録紙Pをガイドして、感光ドラム41と転写手段60の転写ローラ61との間に形成される転写部へと導く。転写後ガイド33は緩やかな凹面に構成されている。トナー像転写後の記録紙Pは、転写後ガイド33によって定着手段70の定着フィルム74と加圧ローラ75との間に形成される定着部に導かれる。反転ガイド34は、定着手段70のすぐ下流のF/U（フェイスアップ）排紙ローラ対37と、その上方のF/D（フェイスダウン）排紙ローラ対38との間に設けられた緩やかに湾曲したガイドであり、トナー定着後の記録紙Pを上方の第二支持手段20に向けてガイドする。なお、反転ガイド34は、上述の外装カバー2と一体に構成されている。

【0028】プロセスカートリッジ40は、感光ドラム41、帯電ローラ（帯電手段）42、現像装置（現像手段）43、そしてクリーニング装置（クリーニング手段）44を、カートリッジ容器45に一体的に組み込んでカートリッジ化し、本体1に対して着脱可能としたものである。

【0029】感光ドラム41は、前述のようにドラム状の電子写真感光体であり、本体1側のモータ81を駆動源とする駆動機構によって駆動される。

【0030】帯電ローラ42は、感光ドラム41表面に接触配置され、感光ドラム41の回転に伴って従動回転する。帯電ローラ42には、本体1側の基板80によって直流電流と交流電流とが重量された帯電電圧が印加され、これと感光ドラム41の回転とによって、感光ドラム41表面を一様に帯電する。

【0031】現像装置43は、トナーを収容するトナー容器43aと、現像ローラ43bとを有する。現像ローラ43bは、内側にマグネットを有し、回転することにより表面にトナーを担持する。この表面のトナーは、規制ブレード43cによって層厚が規制されるとともに電荷が付与され、後述の情報光発射手段50によって感光ドラム41上に形成された静電潜像に付着され、トナー像を形成する。本実施形態に係わるプロセスカートリッジ40において、現像装置43は、上方にトナー容器43aを配置し、下方に現像ローラ43bを配置することができるので、トナー容器43a内のトナーは、重力によって自然に現像ローラ43bに向かって落下する。従って、トナー容器43a内のトナーを現像ローラ43bに向けて搬送するための特別な機構、例えば攪拌部材等を装着する必要がない。これにより、プロセスカートリッジ40の構成を簡略化することができる。

【0032】クリーニング装置44は、トナー像転写後の感光ドラム41表面に摺擦して、表面の残留トナーを除去するクリーニングブレード44aと、除去した廃トナーを回収するクリーニング容器44bとを備えている。カートリッジ容器45の上部には、露光用の透孔45aが設けられている。なお、本体1に対するプロセスカートリッジ40

の着脱動作については後述する。

【0033】情報光発射手段50は、上述の露光用の透孔45aを介して感光ドラム41表面を光照射するものであり、全体がプロセスカートリッジ40の上方に配設されている。情報光発射手段50は、画像信号に基づいてレーザービームを発振する半導体レーザー55と、このレーザービームを回転しながら反射するポリゴンミラー51と、ポリゴンミラー51を回転駆動するモータ52と、レンズ53と、反射ミラー54とを備えている。このレーザービームの照射によって、感光ドラム41上には、画像信号に対応した静電潜像が形成される。

【0034】上述のプロセスカートリッジ40及び情報光発射手段50は、後方の第一支持手段10と、前方の第二支持手段20と、下方の搬送路30との間、すなわち、縦U字パスの内側のスペースに、コンパクトに配置されている。

【0035】転写手段60は、搬送路30の下方において、感光ドラム41に下方から当接する転写ローラ61を有し、感光ドラム41との間に転写部を形成している。転写ローラ61は、芯金61aの左右両端部がバネで付勢された軸受によってそれぞれ保持されており、これにより、感光ドラム41表面上に所定の押圧力で当接されている。転写ローラ61には、基板80によって、感光ドラム41上のトナー像と逆極性の転写電圧が印加され、これにより、転写部を通過する記録紙P表面に、感光ドラム41上のトナー像が転写されるようになっている。

【0036】定着手段70は、本体1にバネを介して保持されたセラミックヒータ72と、ガイド73の外周に無端状に装着された定着フィルム74と、定着フィルム74に下方から当接して定着フィルム74との間に定着部を形成する加圧ローラ75とを有する。セラミックヒータ72及び定着フィルム74は、熱容量が小さく、従って、通電してから定着に要する所定の温度に昇温するまでの時間が短い。これにより、定着手段70から不要な熱が放射されるのを防止している。定着手段70は、上流側の転写部で表面にトナー像が転写された記録紙Pが、その未定着のトナー像を担持した状態で定着部を通過するときに、トナー像を溶解固着して記録紙Pの表面に定着するように構成されている。

【0037】次に図2を参照して、本体1の外装カバー2の開閉動作と、プロセスカートリッジ40の装着動作について説明する。

【0038】本体1の前面を覆うとともに、前述の第二支持手段20を兼ねる外装カバー2は、本体1によって、下部のヒンジ2aを中心に矢印D方向に揺動自在に支持されている。ここで、外装カバー2を同図に示すように、開放すると、本体1の前面に大きな開口部1aが現出するので、この開口部1aを介して、本体1の内部にプロセスカートリッジ40を装着する。

【0039】又、本体1内に装着されているプロセスカ

ートリッジ40の取り外しも、同様に簡単に行うことができる。さらに、プロセスカートリッジ40を取り外すと、搬送路30のうち給紙部から定着部に至る部分が露出されるので、記録紙Pのジャム処理等が容易に行える。

【0040】次に、図1を参照して、以上の構成のプリンタM全体の画像形成動作について簡単に説明する。

【0041】まず、第一支持手段10に、縦方向に記録紙Pをセットする。プロセスカートリッジ40内の感光ドラム41を回転駆動し、帯電ローラ42によって、感光ドラム41表面を一様に例えば負極性に帯電する。この一様に帯電された感光ドラム41表面に、情報光発射手段50によって露光を行う。情報光発射手段50からは、画像信号に基づいたレーザー光が発射され、感光ドラム41表面を照射する。感光ドラム41上の光照射部分は、負の電荷が除去されて静電潜像を形成する。この静電潜像は、現像装置43によって、負極性のトナーが付着されるいわゆる反転現像によってトナー像となる。

【0042】一方、給紙部で待機していた記録紙Pは、感光ドラム41上のトナー像にタイミングを合わせるようにして、給紙ローラ35により、転写部に供給される。転写部では、トナーと逆の正極性の転写電圧が印加された転写ローラ61によって、感光ドラム41上のトナー像が記録紙P上に転写される。記録紙Pは、定着手段70において、表面の未定着トナー像が、加熱加圧を受けて定着された後、F/U排紙ローラ37を経て案内手段を構成するフラップ39へ送られる。フラップ39は、上方へ付勢されている状態（図1中点線にて図示）においては、記録紙Pをストレート方向（矢印B方向）に案内し、記録紙Pを、印字面を上方に向けてフェイスアップ排紙トレイ82上に、フェイスアップ（F/U）排紙する。

【0043】ここで、フェイスアップ排紙トレイ82は第三支持手段を構成するものであり、図2に示すように、82a、82b、82cにて折り曲げて本体1内に収納可能な構成になっており、前述のプロセスカートリッジ40の脱着の際も、フェイスアップ排紙トレイ82を本体1内に収納してから外装カバー2の開閉を行う。一方、フラップ39は、下方へ付勢されている状態（図1中実線にて図示）においては、記録紙Pを上方へ案内し、反転ガイド34とF/D排紙ローラ38により、記録紙Pを矢印C方向に、印字面を下方に向けてフェイスダウン（F/D）排紙する。このF/D排紙によって、記録紙Pは、第二支持手段20の排紙トレイ22上に排出される。

【0044】次に、図1、図3を参照して、画像読取部90の構成について説明する。画像読取部90（以下、「画像読取部」というときには、各部品が配置され、画像読取部全体を構成するフレームについてもいうものとする）は、本体1の外装カバー2の前面に、軸2bを中心として矢印E方向に回転可能に構成されており、下部に設けられた爪部90aと外装カバー2に設けられた爪掛かり部2cとによって外装カバー2に容易に着脱できるよ

うに構成されている。

【0045】画像読取部90は、縦方向に向けて上方から順に、原稿Qをセットする給紙トレイ91、原稿Qを給紙するための給紙ローラ92、原稿情報を読み取るためのコンタクトイメージセンサ93、が略直線的形状に配置されている。ここで、給紙トレイ91は、未使用時は画像読取部90内に収納できるように、出入り可能に構成されている。給紙ローラ92の斜め下方には分離パッド94が配置され、コンタクトイメージセンサ93の下方には読取ローラ95が対向配置されており、コンタクトイメージセンサ93はパネ96により読取ローラ95に対して押圧され、圧接している。又、給紙ローラ92とコンタクトイメージセンサ93の間には搬送ガイド97が配置されている。

【0046】なお、給紙ローラ92と読取ローラ95は画像読取部90内に配置されたモータ（不図示）を駆動源とする駆動機構によって駆動される。ここで、コンタクトイメージセンサ93によって読み取られた画像信号は、画像読取部90内に配置された基板98上で処理され、本体1と接続しているコネクタ（不図示）により本体1側へ送られる。このコネクタは、フロートタイプで構成されており、画像読取部90の脱着に応じて、電気的接続がON/OFFするようになっている。

【0047】次に上述のような構成の画像読取部90の動作を説明する。まず、原稿Qを給紙トレイ91上に、読み取りたい画像がある面を上方に向けて（フェイスアップ）セットする。続いて画像読み取り開始の信号が基板98に入ると、給紙ローラ92が回転し始め、分離パッド94との間で原稿の重送を防止しながら、原稿Qを下流側へ給送する。給送された原稿Qは、搬送ガイド97によってコンタクトイメージセンサ93と読取ローラ95のニップ部へ案内され、案内された原稿Qは読取ローラ95により画像面をコンタクトイメージセンサ93に押圧されつつ搬送されて、原稿排紙口90bより画像面を上方に向けてフェイスアップ排紙トレイ82上に、フェイスアップ（F/U）排紙される。この時、コンタクトイメージセンサ93にて読み込まれた画像信号は、基板98から本体1に送られて印字出力が行われたり、さらには、本体1を介してコンピュータ側に送られ、画像処理が行われた後、本体1にて印字出力される。

【0048】上記の構成にすれば、給紙トレイ13への記録紙Pのセッティング、画像読取部90の給紙トレイ91への原稿Qのセッティング、排紙トレイ22上に排出された記録紙Pの取り出し、フェイスアップ排紙トレイ82上に排出された記録紙P及び原稿Qの取り出しを、全て本体1の前面側からスムーズに行うことができる。又、プロセスカートリッジ40の取り出しも、画像読取部90を取り外すことなく、本体1前面の外装カバー2を開いて、本体1前面側から容易に行うことができる。同様に、画像読取部90の本体1への脱着も、本体1前面側から容易に行うことができる。

【0049】このように、本体1と画像読取部90を併せて使用する場合も、本体1単体で使用する場合と変わりがなく設置時、給紙時、排紙時、ジャム処理時等に必要な動作全てを、同一方向からアクセスすることができるので、非常に操作性に優れている。又、画像読取部90の搬送路は、ほぼ直線上に構成されているため、原稿Qの表面に損傷を与えることもない。さらには、画像読取部90がフェイスアップ排紙トレイ82上に配置されているため、実使用上の設置面積も増やさずにすむ。

【0050】〔第2実施形態〕本発明は上記第1の実施形態にとどまらず、さまざまな他の実施形態が考えられる。次に、図4を用いて第2の実施形態について説明する。第1の実施形態においては、原稿Qをセットする給紙トレイ91が、画像読取部90に対して出入り可能に配置されていたが、本実施形態では、原稿Qの前半部は画像読取部90の一部90c上に、又、原稿Qの後半部は本体1の排紙トレイ22上もしくは延長トレイ23上にセットできるように構成されている。

【0051】従って、原稿Qをセットする際に、給紙トレイ91を引き出す必要がないため、操作性がさらに向上する。又、給紙トレイ91を廃止できることによって、給排紙に要するトレイを全く備える必要がないので、画像読取部90自体のコンパクト化、軽量化、ならびにコストダウンを図ることができる。

【0052】〔第3実施形態〕さらに第3の実施形態について図5を用いて説明を行う。本実施形態では、画像読取部90は、縦方向に向けて上方から順に、原稿Qをセットする画像読取部90の一部90c、原稿Qを給紙するための給紙ローラ92、画像読み取り手段であるコンタクトイメージセンサ93が略直線的形状に配置されているところまでは、前述した第2の実施形態と同じだが、給紙ローラ92の斜め上方に分離パッド94が配置され、コンタクトイメージセンサ93の同じく上方に読取ローラ95が対向配置されている。なお、コンタクトイメージセンサ93はパネ96により読取ローラ95に対して押圧され、圧接しており、又、給紙ローラ92とコンタクトイメージセンサ93の間には搬送ガイド97が配置されている。

【0053】本構成においては、原稿Qを、画像読取部90の一部90c上に、読み取りたい画像がある面を下方に向けて（フェイスダウン）セットする。続いて画像読み取り開始の信号が基板98に入ると、給紙ローラ92が回転し始め、分離パッド94との間で原稿の重送を防止しながら、原稿Qは下流側へ給送される。給送された原稿Qは、搬送ガイド97によってコンタクトイメージセンサ93と読取ローラ95のニップ部へ案内され、案内された原稿Qは読取ローラ95により画像面をコンタクトイメージセンサ93に押圧されつつ搬送されて、原稿排紙口90bより画像面を下方に向けてフェイスアップ排紙トレイ82上に、フェイスダウン（F/D）排紙される。

【0054】従って、同じフェイスアップ排紙トレイ82



上に排出される記録紙Pと原稿Qが、記録紙Pはフェイスアップで、又、原稿Qは記録紙Pとは表裏が逆のフェイスダウンで排出されるので、使用者が両者を混同することなく、容易に識別することができる。

【0055】〔第4実施形態〕さらに第4の実施形態について図6を用いて説明する。本実施形態では、画像読取部90は、縦方向に向けて下方から順に、原稿Qをセットする画像読取部90の一部90c、原稿Qを給紙するための給紙ローラ92、画像読み取り手段であるコンタクトイメージセンサ93、が略直線的形状に配置されている。給紙ローラ92の斜め下方には分離パッド94が配置され、コンタクトイメージセンサ93の下方には読取ローラ95が対向配置されており、コンタクトイメージセンサ93はパネ96により読取ローラ95に対して押圧され、圧接している。又、給紙ローラ92とコンタクトイメージセンサ93の間には搬送ガイド97が配置されている。つまり、本構成の画像読取部90においては、原稿Qを画像読取部90の一部90c上に、読み取りたい画像がある面を上方に向けて（フェイスアップ）セットすると、基板98に入った画像読み取り開始の信号に応じて給紙ローラ92が回転し始め、分離パッド94との間で原稿の重送を防止しながら、原稿Qを下方から上方へ向けて給送する。給送された原稿Qは、搬送ガイド97によってコンタクトイメージセンサ93と読取ローラ95のニップ部へ案内され、案内された原稿Qは読取ローラ95により画像面をコンタクトイメージセンサ93に押圧されつつ搬送されて、原稿排紙口90bより画像面を上方に向けて排紙トレイ22もしくは延長トレイ23上に、フェイスアップ（F/U）排紙される。

【0056】従って、本体1において記録紙Pをフェイスダウンで排出している最中でも、排出される記録紙Pに煩わされることなく、使用者が原稿Qを画像読取部90にセットして、読み取らせることができる。よって、同じ操作性が得られる第1の実施形態に対して、本実施形態はさらに原稿給紙トレイを省略することができるので、画像読取部90のコンパクト化、軽量化、コストダウンも両立させることができる。又、この場合においても、排紙トレイ22上に排出される記録紙Pはフェイスダウンで、逆に、原稿Qはフェイスアップで排出されるので、使用者が両者を混同することなく、容易に識別することができる。

【0057】〔第5実施形態〕さらに第5の実施形態について図7を用いて説明する。本実施形態では、画像読取部90の下部に水平な面90dが形成されているため、単独で自立可能である。よって、画像読取部90は、本体1から取り外した場合でも、コネクタ（不図示）で本体1と接続することによって、水平面に置いて単独で使うことができる。

【0058】従って、使用者の要望に応じて、画像読取部90を本体1に取り付けても、又は、単独でも使用することができるので、より多くの使用者に受け入れられや

すい多機能な画像形成装置を提供することができる。

【0059】

【発明の効果】以上説明したように、本発明にあっては、第一支持手段及び第二支持手段へ記録媒体を縦方向に支持させることにより、装置の設置スペースが小さくて足りるようになる。

【0060】また、前記画像形成後の記録媒体を支持する第二支持手段が、プロセスカートリッジの脱着の際に装置本体に対して開閉可能に構成され、又、画像読取手段は前記第二支持手段に対して着脱可能に構成されていることにより、画像記録手段、画像読取手段ともに、設置時、給紙時、排紙時、ジャム処理時等に必要な動作、即ち、第一支持手段への記録媒体のセット、第二支持手段からの記録媒体の取り出し、プロセスカートリッジの着脱及び画像読取手段の着脱を第二支持手段側から行うことが可能となる。このため、全てを同一方向から使用者がアクセスすることができ、非常に操作性に優れた多機能な画像形成装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施形態に係る多機能画像形成装置の縦断面図である。

【図2】本発明の第1の実施形態における外装カバーの開閉動作とプロセスカートリッジの着脱動作を示す図である。

【図3】本発明の第1の実施形態における画像読取部の着脱動作を示す図である。

【図4】本発明の第2の実施形態に係る多機能画像形成装置の縦断面図である。

【図5】本発明の第3の実施形態に係る多機能画像形成装置の縦断面図である。

【図6】本発明の第4の実施形態に係る多機能画像形成装置の縦断面図である。

【図7】本発明の第5の実施形態に係る多機能画像形成装置の縦断面図である。

【図8】従来例を示す多機能画像形成装置の縦断面図である。

【符号の説明】

M …レーザービームプリンタ

P …記録紙

Q …原稿

1 …プリンタ本体

1a …開口部

2 …外装カバー

2a …ヒンジ

2b …軸

2c …爪掛かり部

10 …第一支持手段

10a …下端部

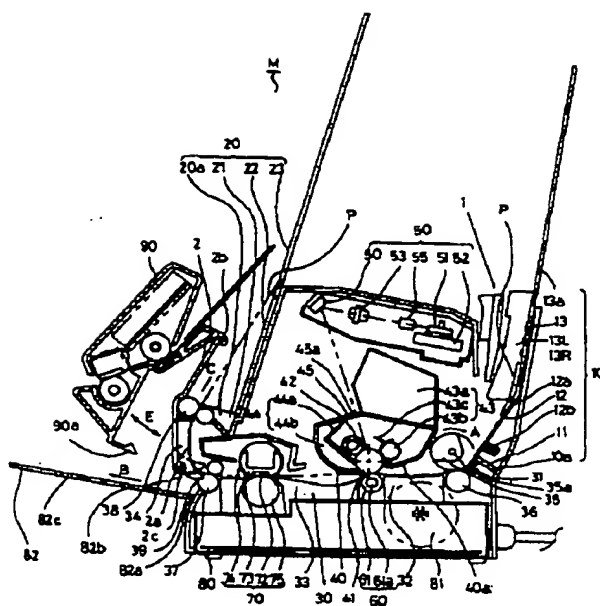
11 …突当部

12 …先端支持部

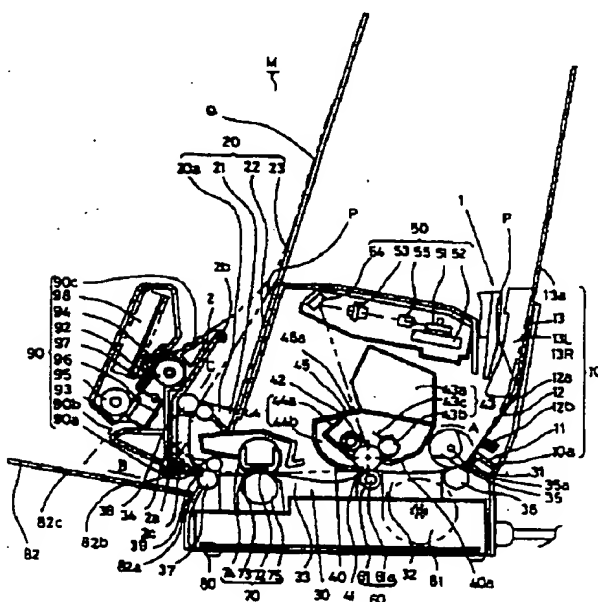
12 a …軸  
 12 b …バネ  
 13 …給紙トレイ  
 13 a …延長ガイド  
 13 L …規制板  
 13 R …規制板  
 20 …第二支持手段  
 20 a …下端部  
 21 …突当部  
 22 …排紙トレイ  
 23 …延長トレイ  
 30 …搬送路  
 31 …分離パッド  
 32 …転写前ガイド  
 33 …転写後ガイド  
 34 …反転ガイド  
 35 …給紙ローラ  
 35 a …軸  
 36 …搬送ローラ  
 37 …フェイスアップ排紙ローラ  
 38 …フェイスダウン排紙ローラ  
 39 …フラップ  
 40 …プロセスカートリッジ  
 40 a …下面  
 41 …感光ドラム  
 42 …帯電ローラ  
 43 …現像装置  
 43 a …トナー容器  
 43 b …現像ローラ  
 43 c …規制ブレード  
 44 …クリーニング装置  
 44 a …クリーニングブレード  
 44 b …クリーニング容器

45 …カートリッジ容器  
 45 a …透孔  
 50 …情報光発射手段  
 51 …ポリゴンミラー  
 52 …モータ  
 53 …レンズ  
 54 …反射ミラー  
 55 …半導体レーザー  
 60 …転写手段  
 10 61 …転写ローラ  
 61 a …芯金  
 70 …定着手段  
 72 …セラミックヒータ  
 73 …ガイド  
 74 …定着フィルム  
 75 …加圧ローラ  
 80 …基板  
 81 …モータ  
 82 …フェイスアップ排紙トレイ  
 20 90 …画像読取部  
 90 a …爪部  
 90 b …原稿排紙口  
 90 c …画像読取部の一部  
 90 d …水平面  
 91 …給紙トレイ  
 92 …給紙ローラ  
 93 …コンタクトイメージセンサ  
 94 …分離パッド  
 95 …読取ローラ  
 30 96 …バネ  
 97 …搬送ガイド  
 98 …基板

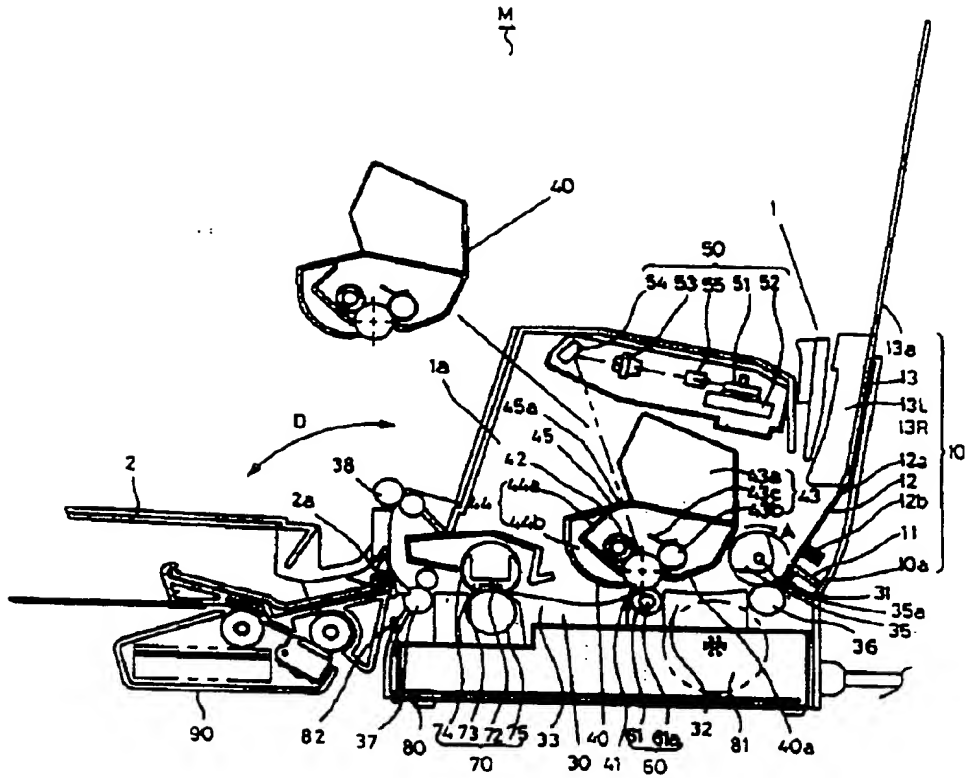
【图3】



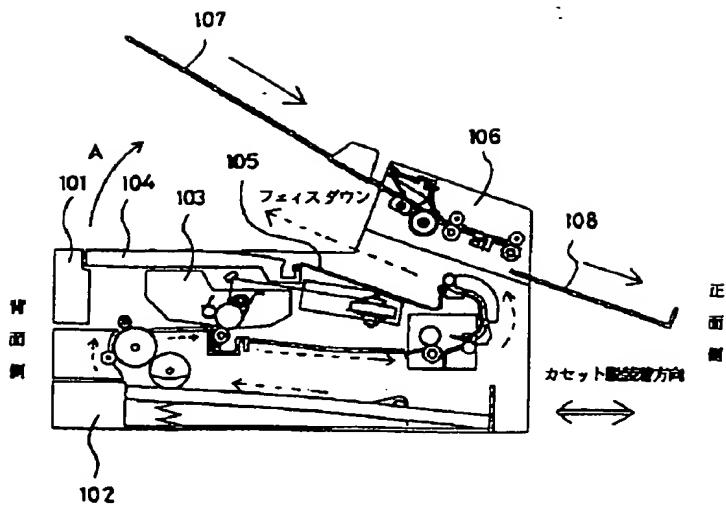
【图 5】



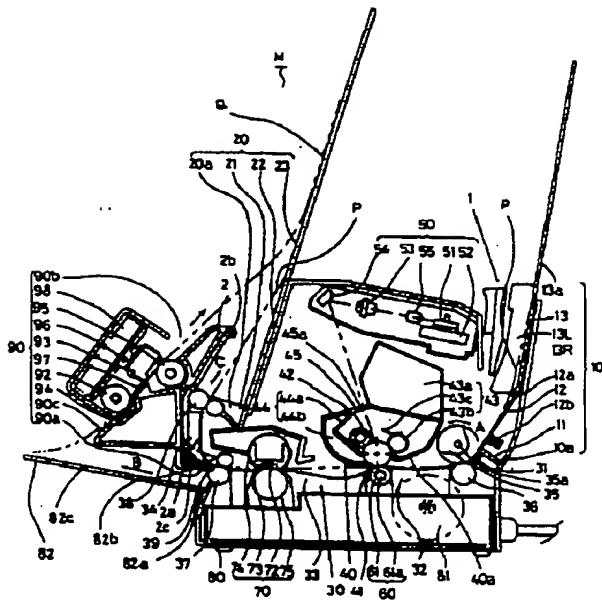
【図2】



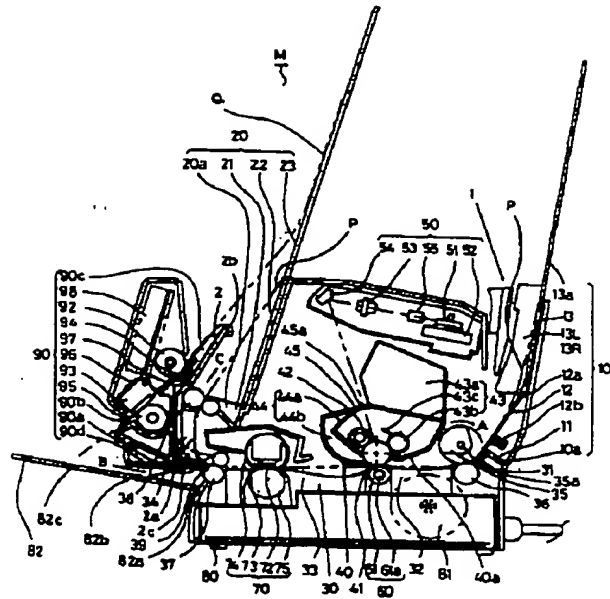
【図8】



【図6】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 梶家 秀彦  
東京都大田区下丸子3丁目30番2号キャノ  
ン株式会社内